

## チヨウウタリ

山に行く旅人達がひととき、くつろぐ休憩所という意味のネパール語です。そこは、必ず大きな木があり、鳥のさえずりに満ちています。時には遊牧民達が歌を歌ったり笛を吹いたりする場所でもあり、またある時には村人達が集う場所でもあります。このコンサートでは、

大きな木の下に、ネパールと日本との伝統芸能を伝承している言人たちが集い、交流します。 Chautari is the place for relax and communication. In Nepal, under a big tree, people and birds enjoy exchanging music.

On July 17, 2016, the leading artists of Nepalese and Japanese traditional musical entertainment share the chautari with you.

## バンチャラマ



1970年ネパール・サラマセに生まれる。幼い頃から音楽や舞踏に親しみ、85年にプロとなり「バンスリの天才」と称される。ネパールを代表するミュージシャンとして、テレビ、ラジオを始め、その演奏やレコーディングには数手曲におよぶ。ヒマラヤの大地に育まれた彼の音楽は、「大らかで豪快」「自然の空気の美しさに満ち溢れている」と日本でも圧倒的な人気を誇る。今年公開された映画「エヴェレスト 神々の山嶺」の音楽制作に携わり、バンスリはバンチャラマ、タズラはサラマバンチャラマが演奏している。

## サラバンラマ



バンスラマの弟。ネパール多民族の持つ「数百通りのリズム」に精通し、その軽やかな指捌きにより奏でられる音は「人が対話しているよう」と評されている。



## 江戸太神楽 (えとだいかぐら)

熱田神宮の神官たちが家々をお載いして歩いたのがルーツといわれる獅子舞や、江戸の頃から庶民に喜ばれてきた「投げ」る、立てる、回す」の曲芸の数々を連続と受け継ぐ伝統芸能。お囃子の生演奏で行う演技には、圧倒的な気迫による緊張と、軽妙な動きと笑いが混ざり合う。



## 丸一仙翁社中 (まるいちせんおんかじやちゆう)

東京都文京区に本拠地を置く。東京都指定無形民俗文化財、文京区社会教育団体の指定を受けている。国内外を問わず公演をしており、1996年以来江戸太神楽教室を開催し江戸太神楽の伝承にも努めている。

